越後浦佐 毘沙門堂

日本三大奇祭 裸押合大祭

三月三日

新潟県 南魚沼市 裸押合大祭委員会

押合い祭の始まりは今から1200年前の大同二年（807年）坂上田村麻呂将軍がご自身の守本尊「毘沙門天」を浦佐の地に御堂を建てお祀りして「国家安穏」「五穀豊穣」「家内安全」を村人と共に祈り、そして祝宴の中で歌い踊って士気を鼓舞したことが始まりと言われています。記録として残っているものは宝暦六年（250年前）幕府役人の復命書に当時の押合い祭の状況が記されています。
かつては、年1回初詣の正月3日に御堂の唐戸を開き、ご本尊様の御廉を上げ御開帳して行われる行事に、毘沙門天を信仰する人々が各地から集まり、賑わいと混雑を極めました。多くの信者が他の人より早く参拝しようと、もみ合い押合うその熱さと、年頭にその年の除災招福を願う心から、水行をして参前する。これらのことが混じり合って次第に裸になる者が多くなり、全員裸で御本尊に額づくようになり、今の「裸押合大祭」に連綿と受け継がれて来ています。

前夜祭（3月2日）

御前立本尊御開帳護摩法要
午後7時

五穀豊穣と世界の平和、被災地の復興と萬人講員、護摩講員の幸せを祈願する。

大ローソク献火式
午後7時40分

毘沙門堂で、多聞青年団団長は普光寺住職よりお護摩の火を分けてもらう。別行殿・秘仏毘沙門天の正面で、厳かに大ローソク献火式が執り行われる。

浦佐多聞青年団水行
午後7時50分

毘沙門天に仕える浦佐多聞青年団最高幹部と年男は、一か月前から四足二足を絶つ。そして、2月25日からの7日間大祭の無事故と成功を祈り水行を行う。

福餅撒与
午後8時30分

前夜祭の福餅撒与は、お客の接待等で、当日参拝に来られない地元の皆さんのために行われる。

裸押合大祭 行事日程

時刻が変更になりました。

前夜祭	18:00	前夜祭イベント
	19:00	御前立本尊御開帳護摩法要
	19:40	大ローソク献火式
	19:50	浦佐多聞青年団 幹部・水行
	20:30	福餅撒与
昼の行事	8:30	第1回 御前立本尊御開帳護摩法要
	9:45	稚児行列
	10:00	小学生鼓笛隊演奏
	10:15	稚児 御堂入り
	10:20	講中福餅運搬 大八車
	10:45	第2回 御前立本尊御開帳護摩法要
	11:00	第1回 福餅配与
	11:15	第1回 福餅撒与
	11:30	第2回 福餅配与
	11:45	第2回 福餅撒与
	12:30	第3回 御前立本尊御開帳護摩法要
	12:45	第3回 福餅配与
	13:00	第3回 福餅撒与
	13:10	大名行列
	13:50	大名 御堂入り
	14:15	第4回 御前立本尊御開帳護摩法要
	14:45	第4回 福餅配与
	15:00	第4回 福餅撒与
	15:00	第5回 御前立本尊御開帳護摩法要
	15:15	第5回 福餅配与
	15:30	第5回 福餅撒与
夜の行事	17:00	ねこしき
	17:20	青年団水行参拝・豊年踊り
	17:40	ローソク講中水行・参拝
	18:10	中学生水行・押合い
	18:30	撒与者水行
	18:40	一般水行・押合い
	19:00	第1回 福物撒与・弓張撒与
	19:30	撒与者水行
	19:40	一般水行・押合い
	20:00	第2回 福物撒与・弓張撒与
	20:30	撒与者水行
	20:40	一般水行・押合い
	21:00	第3回 福物撒与・弓張撒与
	21:20	ささらすり
	22:10	大鏡餅撒与
	22:10	御灰像撒与
	22:45	撒与品授与式

交通のご案内

- ●関越自動車道　六日町I.Cより……車で15分
  大和スマートI.C（ETC専用）より……車で5分
  小出I.Cより…車で10分
  ※隣接地に駐車場あり‥ 普通車40台、バス4台
- ●上越新幹線浦佐駅下車 ……徒歩5分

●お問い合わせ…

大祭事務局　TEL025-777-3773
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐2495

大和観光協会　TEL025-777-3054
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐1188-2 市役所大和庁舎1階

福餅撒与
午前11時15分
午前11時45分
午後　1時00分
午後　3時00分
午後　3時30分

市内外50の餅講中・餅会が「餅」を毘沙門天に寄進。その餅は、お護摩の加持によって「福餅」となる。その「福餅」が授かると一年間「除災招福」。お年寄り、子供達のために福餅撒与15分前に福餅配与が行われる。

稚児行列
午前9時45分

稚児役は浦佐小学校2年生で健やかな成長を願い、お護摩の御祓いを受ける。稚児装束で着飾った愛らしい姿はカメラマンの格好の被写体。稚児が持つ華皿に載った「散華」を授かると「家内安全」。

講中福餅運搬 大八車
午前10時20分

講員総出で作った餅を、多聞青年団員が浦佐駅前でお迎えし受け取り、講中の皆さまを、毘沙門天へと案内する。

御前立本尊 御開帳護摩法要
午前　8時30分
午前10時45分
午後12時30分
午後　2時15分
午後　3時00分

県内外の信者、参拝者は、堂内に設けられた護摩札所で「護摩札」を求め、祈願（五穀豊穣、合格祈願、身体健康、家内安全、商売繁盛、交通安全等々）を記し、護摩法要（約40分）の祈祷を受ける。自らも毘沙門天の座る内陣に入り「毘沙門天」を参拝できる。

大名行列
午後1時10分

浦佐駅前から毘沙門堂までの300m。「木杯・金杯・銀杯」を毘沙門天に寄進した信者、企業、団体の代表が、羽織・陣笠を着、人馬にまたがり行列する様は一見の価値あり。その行列を護衛する多聞青年団員の肩から胸にかけ、大ローソクのだろうが流れる。

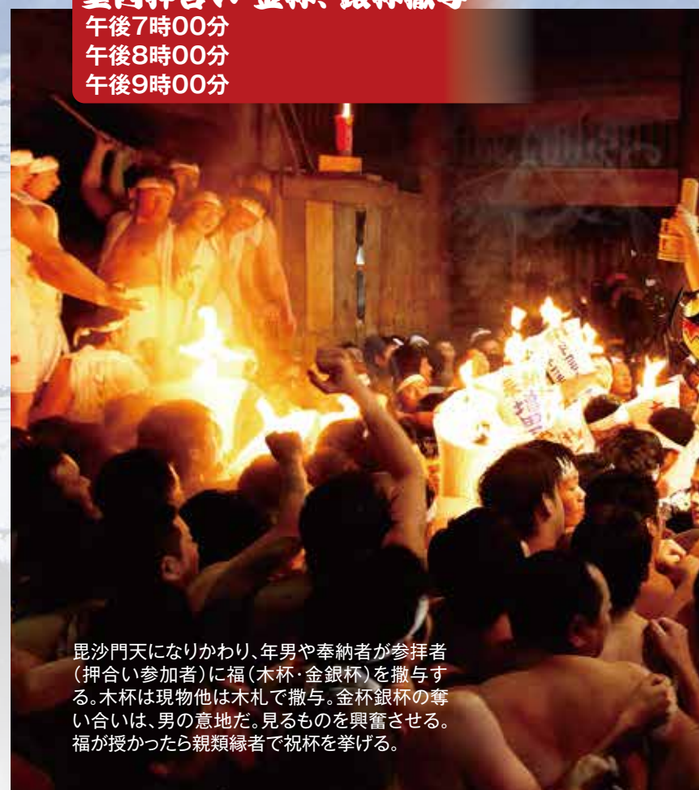
ねこ引き
午後5時00分

「ねこ」とは藁の敷物のことを言う。今年収穫したコシヒカリの稲わらで、11月3日に毘沙門堂境内で、多聞青年団員総出で「敷物」を編む。そのことを「ねこかき」と言う。「ねこ」を敷くと押し合いの準備が整う。

境内弓張撒与
午後7時00分
午後8時00分
午後9時00分

弓張（提灯）は、人馬にまたがる毘沙門天や武将を照らす灯り。
弓張撒与者が屋根に上がると、堂内に撒与する年男と金杯奉納者が人馬にまたがり本堂から出てくる。弓張撒与は、弓張りの奪い合いで壮絶。女子、子どもは危険、ロープの外で見学。撒与された弓張りに群がる群衆、それを護衛する大ローソク。必見だ。授かった弓張りの一部は神棚や仏壇に供えるか、お守りとして身に着ける。心願成就する。
授かった弓張を、田んぼの水口にさしておくと、病虫害から守られ豊作になるという。

堂内押合い 金杯、銀杯撒与
午後7時00分
午後8時00分
午後9時00分



毘沙門天になりかわり、年男や奉納者が参拝者（押合い参加者）に福（木杯・金銀杯）を撒与する。木杯は現物他は木札で撒与。金杯銀杯の奪い合いは、男の意地だ。見るものを興奮させる。福が授かったら親類縁者で祝杯を挙げる。

水行
午後5時20分（多聞青年団）
午後5時40分（ローソク講中）

多聞青年団団長の水行、豊年踊り、毘沙門天へのお詣りで、押し合いがスタートする。
水行は随時行われるが、毘沙門天に参拝する前に、身を清めると言うことから行う。水行のうがい鉢は、一つの石をくり抜いたもので、全国でも類を見ない大きさだ。

中学生押合い
午後6時10分

大和中学校2年生が、校旗を先頭に隊列を組み「サンヨ、サンヨ」の掛け声で、毘沙門堂を目指す。水行を行う雄姿に女生徒から声援が飛ぶ。そして、我先に毘沙門天に参拝する。

ささらすり
午後9時20分

大祭の最大の見どころ「ささらすり」は、烏帽子をかぶり、狩衣、袴姿の年男が人馬にまたがり、毘沙門堂大手門から入堂すると、それまで押合いしていた裸衆は、年男を中心に三重四重の輪になり足をふみ、サンヨサンヨの掛け声で踊る。年男は毘沙門天を正面に今年の豊作を祈願する。

御灰像撒与
午後10時10分

毘沙門堂でお護摩を炊いた後に残る灰を使用し、普光寺住職自らが12体の毘沙門天をかたどった金箔の像を作る。その御灰像を撒与し押合いが終了する。